



▲両翼を広げて飛び立つ鳥のようにゴール

## 飛ぶように走る

5月14日(土)第一小学校で運動会が開かれました。震災から5年。グラウンドには児童や家族の歓声が響きました。両手を大きく広げ、ジャンプしてゴールする姿はまさに、両翼を広げて飛び立つ鳥のように雄大。限りない可能性を秘めた力強いゴールでした。



牧場のあーさー♪も登場



▲ユニークな種目も運動会の醍醐味

# かがみいし 議会だより

No.160  
平成28年6月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒999-0407福島県岩瀬郡鏡石町  
不時沼345  
電話0248(62)2110  
印刷(南)永山印刷

## 町民の声

### 選挙で未来を育てよう

白バラ会会長 友坂周子



白バラ会  
会長 友坂周子さん

福島県には「白バラ会」と「明るい選挙推進委員会」があり、我々はそのどちらにも参加しています。鏡石町の各種選挙投票率は



白バラ会総会

下降気味であり、年代別に見ると若者の投票率が低迷しています。今回選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられることになり、新有権者の皆さんの投票率向上へと理解を深めていただくために、啓発活動を促進したいと考えています。本年は参議院議員通常選挙の年であり、全国240万人の有権者の何分の一であつても政治に参画することは意義深いものがあると思われまふ。選挙は民主主義の基盤であり、住民の声を政治に反映させることの出来る唯一の権利であります。私たちが安心して暮らしやすい生活を送るためにも棄権しないで投票することをお願いしたいと思います。私は鏡石町に住んで半世紀近くになりますが、穏やかで住み良い町であることに感謝

しています。少子高齢化が叫ばれており、現在の若い世代も必ず年を重ねて参ります。自分の将来そして子孫のためにも1票を投票することが国民としての義務であり、権利です。公明な選挙は白バラ会の使命で、その番人らしく今後も頑張つて、当選された方々が住み良い鏡石町にして下さることを切望いたします。なお、選挙立候補者は民間主催の立会演説会には必ず出席して、自分の抱負を主張していたいただき、選挙期間中には名前ばかりの連呼行為は止め、ご自分の政策を町民の皆様へ訴えかけていただければと思います。



白バラ会の誓いの言葉を朗読

## 編集後記



広報編集委員

震災から5年を経過し、3月議会において平成28年度の予算が可決、承認されました。復興予算も減少し、震災前の予算に近づいたものとなりました。

町の総合計画も折り返しの5年目となり、計画の見直しが議論されます。議会として計画案をしっかりと審議して参りたいと考えております。「復興から進化へ」人口減少化社会を迎え、いよいよ市町村の生き残り戦略が「ものをいう時代」に突入した感が

あります。議会も開かれた議事をめざし、さらに、皆様の声を町政に反映させるべく活動を参ります。その一つがこの「議会だより」であります。皆様により親しまれる、読んでいただける「議会だより」を目指していきますので、町民の皆様への議会に対する率直なご意見を聞くための「町民の声」を募集しておりますので、率直なご意見をお寄せ下さい。広報編集委員一同皆様の声をお待ちしております。



発行責任者  
議長 渡辺 定己

広報編集委員会  
委員長 小林 政次  
副委員長 木原 秀男  
委員 橋本 喜一  
委員 古川 文雄  
委員 菊地 洋  
委員 長田 守弘